

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



「国見町歴文化基本構想」の策定に向けた取り組みを進めています

国見町では、平成 27 年度より「国見町歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを進めています。本構想は、町内に存在する歴史文化遺産を総合的に把握し、町の歴史文化の特徴を明らかにするとともに、それらの周辺環境も含め総合的に保存・活用していく方針を定めることを目的とするもので、平成 31 年度の策定を目標としています。

町には、先人たちの取り組みと努力により、多くの歴史文化遺産が現代に受け継がれ、また平成 27 年に国の認定を受けた「国見町歴史的風致維持向上計画」に基づくさまざまな事業の展開により、町内外に「歴史のまち国見」が定着しつつあります。しかし、私たちを取り巻く社会環境の変化により、各地域に息づいてきた信仰や祭礼、習慣など、継承・継続することが難しくなっているものも多くあります。今、私たちの営みや町の歴史を改めて紐解き、その価値を見直し、よりよい状態で引き継いでいく仕組みづくりが必要となっているのです。

取り組みとして、まず平成 27・28 年度に、町の歴史風致を形成する建造物の悉皆調査を実施し、平成 29 年度には、当該調査結果や文献、アンケート調査結果などから町の歴史文化資源の悉皆調査を実施し、基礎情報を整理しました。また、平成 29 年 10 月 14 日に開催した「第 9 回国見町歴史まちづくりシンポジウム」では、住民のみなさんの本構想への関わり方についてディスカッションを行いました。



◀シンポジウム「地域の文化遺産を活かした歴史まちづくりに向けて～あまり知られていないけれども、実はすごい国見の話～」の様子

平成 30 年度は、学識経験者や町民で構成される策定委員会を設置し、策定に向けた検討を行うとともに、これまでの情報収集の補足や、保存活用計画の方針を検討する材料として、町内聞き取り調査を行っています。



▶文化財の保存状態の確認や、管理者からのエピソードの聞き取りを行っています

また、今後、各地域でみなさんが大切にしてきたもの、次世代に伝えたいものについて考えるワークショップの開催を予定しています。

この地で 1000 年培われてきた人々の知恵や文化、歴史を受け継いでいくため、町民のみなさんとともにこれからの地域づくりを考えていきたいと思えます。みなさんご協力、ご参加をお願いします。



1 旧藤田宿で繰り広げられた迫力ある「もみ合い」
2 3 4 祭囃子を奏でる若連の子どもたち 5 祭りを盛り上げる山車パフォーマンス 6 「子ども山車」も元気なかけ声とともに町内を練り歩きました 7 道の駅国見あつかしの郷で『剣の舞』を奉納する神職 8 華やかな稚児舞 9 10 若連ごとに特色ある伝統の山車



国見町を代表する秋祭り「鹿島神社例大祭」が 10 月 25 日から 27 日にかけて、旧奥州街道藤田宿を中心に行われました。例大祭期間中は、神輿と 4 町若連の山車、稚児行列が祭囃子を響かせながら、華やかに町内を練り歩きました。祭りの最大の見どころ、山車と山車が神輿を挟んで激しくぶつかり合う「もみ合い」では、若連衆の勇ましいかけ声と神輿と山車がぶつかりあう轟音が響きわたる度に、沿道からは大きな歓声が沸き起こり、街道は熱気に包まれました。

歴史まちインフォメーション

国見町郷土史研究会×国見町歴史まちづくりフォーラム

「石母田」の古道と城跡を歩く

参加費無料 事前申込不要

開催日時 11 月 18 日(日) 午前 9 時 30 分から正午を予定

集合場所 石母田集会所(石母田字樋口)

※午前 9 時 15 分までに集合してください。

準備物 歩きやすい服装・靴の着用、雨具、飲み物

▼義経の腰掛松と覆い屋



▲弁天神社(下紐の関)

石母田城跡をはじめ、弁天神社、義経の腰掛松、石母田石などを巡ります。石母田地区の歴史を感じながら歩いてみませんか？

